

### ■米国：エネルギー情報局、将来電力需要の鈍化を予測

エネルギー情報局（EIA）は2009年12月14日、米国における将来のエネルギー需給見通しを公表した。これによると、米国における総発電電力量は2035年で5.3兆 kWh、2008年からの年平均の伸び率は0.9%である。燃料別に発電電力量を見ると、石炭の占める割合は2035年に44%にまで減少する（2008年は48%）。一方、天然ガスは建設中の石炭火力の運開や再生可能エネルギーの開発により2015年には16%まで減少するが（2008年は21%）、消費者の環境意識の向上などを背景に2035年には21%まで上昇する。再生可能エネルギーは、RPS 制度などの政策面でのインセンティブにより堅調に増加を続けて2035年には17%まで上昇する（2008年は9%）。